

第215回当選者発表(敬称略)

(応募総数31通)

長尾佐智(片山)、西川愛(比江)、宮本伸夫(奈路)、山島千佳(駅前町)、山本秀美(十市)



これはなんでしょう



答えについての思い出などもお待ちしています。

■しめきり 4月20日

■あて先 〒783 南国市大  
 城甲二三〇一 南国市役所広報  
 委員会 親子クイズ係

■賞品 正解者の中から抽選で  
 五人に図書券を進呈。

◎第215回親子クイズの答えは、  
 筆でした。

○お便りの中から皆さんの思い  
 出の一部をご紹介します。

○はじめての筆に墨をつける  
 ときの緊張感とうれしさ、今はほ  
 とんど書くこともなくなっ  
 てしまいました。懐かしいこと  
 です。

○中学生生活のとき、習字の時  
 間の前の席の人が紙(テキスト  
 通り練習した半紙に文字を書い  
 たもの)を下に落としていたの  
 で、それを拾って自分の名前を  
 書いて提出したことがあります。

○三年生から習字をやり始めて  
 とても字を書くことが好きにな  
 りました。

○高新こども展の毛筆の部で  
 入選になり、二月二十八日に賞  
 状をもらって喜んでいました。

○私は戦時中でしたから、毛が  
 チビで短くなった筆を、半紙が  
 ないので古新聞を切って、その  
 上に真っ黒くなるまで何回も練  
 習しました。

お母さんのシリーズ

絵本の与え方、選び方

家庭教育学級専任講師 田植 静代

子供の身体成長にはどんな食  
 物を与えたらよいか、親は気を  
 使います。では、心の成長につ  
 いての心遣いはどうでしょうか。  
 心を育てるには小さいときか  
 ら絵本を与え、絵本を通してお  
 母さんと子供との関わりをもつ  
 ことがとてもたいせつです。

赤ちゃんはもう四カ月ごろに  
 になると、絵本に反応を示しだ  
 します。赤ちゃんに見せる絵本は、  
 輪郭がはっきりした色がよいで  
 しょう。見せるときは、お母さ  
 んの言葉添え、身体を動かし表  
 現を通して見せてあげることが  
 たいせつです。

猫ちゃん、ワンちゃん(犬)  
 などの動物絵本があります。こ  
 の絵本は認識のための絵本です。  
 色も美しくはっきりしていて  
 かわいらしく描かれている絵本  
 は目につきやすく、誰でもそれ  
 を購入したくなります。しかし  
 認識絵本はより実物に近いもの  
 がよいのです。その本でもよく

見てみればかわいいのです。そ  
 して、動物のお母さんと子供と  
 のかわりの伝わってくるス  
 トーリー性のあるものがよいで  
 しょう。

かわいらしく描かれている絵  
 本には、場面が違う人の絵をつ  
 なぎ合わせて作っていることが  
 あり、ストーリー性に欠けるも  
 のがあります。

昔はテレビやラジオがなかつ  
 たので、昔話を聞いて楽しんだ  
 ものです。昔から語り伝えられ  
 ているものは意味があるから  
 残っているのです。

昔話にも問題の本があります。  
 例えば桃太郎の話にしても、地  
 域地域での伝え方が少しずつ  
 違っています。内容を調べ、た  
 だ色がきれいだからだけではだ  
 めです。

また、昔話には残酷なものが  
 あります。例えばかちかち山な  
 どですが、しかし残酷に感じる  
 のは大人の感覚であって、子供

の視点から見るとそれほど  
 ではないのです。昔話は大人  
 になっての心を育てるものがた  
 くさんあります。理屈抜きにし  
 て楽しくよんでもらいたいと思  
 います。

本を読み聞かせるとき、いろ  
 いろな本を与える量も大事です  
 が、より良い本に深く出会うよ  
 うにすることもたいせつです。  
 そのためには一回きりしか読ま  
 ないのでなく、何回も繰り返  
 して読んであげましょう。

毎日の生活の中で十分でもよ  
 いから本を読んであげましょう。  
 それは子供の感受性を高くし深  
 い心を育てていきます。読み聞  
 かせはやれないのでなく、やら  
 ないのです。

(県立図書館山本登志子先生の  
 お話より)

南国市教育委員会社会教育課  
 では、第一子が新一年生を迎え  
 るお母さんのために、中央家庭  
 教育学級を行っています。その  
 お話の一部を参加できないお母  
 さんのために、毎月一日号に掲  
 載しています。よろしくお願  
 いします。

【社会教育課】